

森下さち子ニュース

【2011年6月号】

和歌山市鳴神1145の6 Tel (474) 6556
市議員団ホームページ <http://jcpwkym.sakura.nc.jp/>

6月



「臨時議会報告」

高すぎる国保料！

今年も限度額が引き上げに！



5月23日に開かれた臨時議会では議長、副議長、4つの常任委員会への所属などが決まりました。また、市長から定例会に先駆けて専決処分が必要な事項という議案が提出され賛成多数で可決されました。

そのうちのひとつは国保料の引き上げで、現在の最高限度額をさらに上げるといいます。所得が多く、保険料の引き上げが生活に支障をきたさない場合や出産一時金の

引き上げなどについては反対するものではありません。しかし、和歌山市の基準では所得が475万円（家族構成によつて異なる）になれば、最高限度額（77万円）になることから、所得に占める国保料の割合が2割近くにまで及びます。

そもそも、引き上げについては国が決定するものですが、それを実施するかどうかについては、地域の実情をよく見て地方自治体に裁量が任

勉強会参加

テーマは「議員活動を考える」

市民クラブの議員からお誘いを受け、勉強会に参加しました。

道が市民が歓迎するという傾向も顕著になっています。

また、市民にとって最も身近であると思われる市議会議員選挙の投票率が今回42%台であったことから、そもそも私たち議員の果たす役割が十分に発揮できているのか、あるいは知らせることができているのか、まさに今問われているのではないかとこの勉強会になりました。

議員は市民の代表として信託を受け活動するのが仕事で、これは「二元代表制」という制度に基づいています。ところが、阿久根市や大阪府、名古屋市のよう

に首長が議会を軽んじて、「二元代表制」を否定するよう

な事態が起きています。そしてそのような考え方や報

梅雨の真っ只中で、しかも肌寒い日と蒸し暑い日とが交錯する今日この頃です。何だかすっきりしないと思いつつ、毎日を過ごしていますが、みなさんはいかがですか。

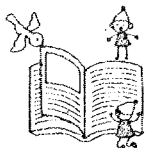
早いもので、市議選を終えてもう2ヶ月が経とうとしています。すでに臨時議会が終わり、いよいよ6月定例議会への準備が始まっています。

この号がお手元に届く頃には、一般質問も半ばとなります。選挙で掲げた公約「福祉と防災のまちづくり」の実現に向けて、5人全員が質問に立ち奮闘します。

この勉強会には各会派から

参加があり、ざっくりぼろろに意見交換できたことはとても有意義で今後もぜひ継続していくべきであると思

いました。



始まります◆6月定例市議会

先日の議会運営委員会で、議会の告示が行われ、21日から本会議が開かれます。会期は7月11日までです。一般質問は23日から29日まで、そのあとは4つの常任委員会と2つの特別委員会が行われる予定です。

今回の定例会は補正予算と条例に関わる議案で、東日本大震災に関連する予算などが計上されています。

私は今回の一般質問で、農業振興の上で大きな障害となる鳥獣害についての対策、そして防災対策の2点を取り上げます。現在、私の担当地域である東部は多くの被害が出ているということで、これまでも対策の強化・充実を求めてきましたが、さらに面的な対策や根本的な課題などについて改善を迫りたいと思っています。

こんにちは！ 藤井健太郎です

(ふじいけんたろう)



東日本大震災でのボランティア経験はわずか2日間でしたが、多くのことを学べたと思っています。

側溝の泥上げをしましたが、壊された家の再建をボランティアの手を借りながらすすめている人もいました。今、国は国が描いた復興の都市づくりを地元へ押しつけようとしています。住民の意向を抜きにしての上からの都市づくりでは、元々住んでいた人が住めなくなってしまうのではないかと思います。

青空市場では、「はじめて救援物資らしいものをいただいた」「こんなものが欲しかった」とたいへん歓迎されました。船がなくなって仕事がなく収入が途絶えても、家があれば生活物資が届かないという問題も知りました。

救援活動の継続と地元住民を主体とした町の復興が必要です。大災害から国民の命と生活を守り、生活を再建するのは政治の大きな仕事だということも学んできました。

前県会議員 ふじい健太郎

ひがし9条の会

6月12日に開かれた総会は朝日放送の北畠さんの講演がメインでした。テーマは「広島原爆と被爆者のその後」です。広島原爆資料館のパンフレットを参考資料に核兵器がもたらす、すさまじい破壊力と後々まで影響する後遺症の残酷さは何度聞いても身震いするものです。特に「リトル・ボーイ（少年）」や「ファット・マン（太っちゃの男）」など人を殺す目的である爆弾に愛称をつけるという神経は、私にはどうしても理解できません。

今年の原水禁世界大会は長崎で開かれます。若い世代へ引き継いでいけるよう毎年のこの大会への参加をしっかりと位置付けて取り組みたいものです。



平和だいすき

憲法9条守りましょう

【ひがし9条の会】

2004年6月10日に

井上ひさし、梅原猛、大江健三郎、奥平康弘、小田実、加藤周一、澤地久枝、鶴見俊輔、三木睦子の9氏により「9条の会」が結成されました。それに呼応して、和歌山でもという呼びかけの中、和歌山市東部地域で憲法9条を守り、活かすことを目的に2008年5月に結成されたのが「ひがし9条の会」です。

《ちょっとひがし》

ひがし9条の会の事業活動への協力の一環で青梅を買いました。さっそく帰宅してから娘と息子と3人がかりで梅ジュースを仕込みました。飲むようになるのは3週間後くらいでしょうか。梅のパワーでこのうつどうしい時期を乗り切りたいです！



生活相談

介護・医療・子育てなどお気軽にご相談ください。事前のお電話をお待ちしています。

市役所控え室
毎木曜日
午後1時～4時
花山の森下事務所



おつきく なあれ

森下さんちの
元おつきく
成長日記

楠見の打手川へホテル観賞に行きました。娘と一緒に夕方、家を出発しました。夏至に向かう頃は昼の時間が長く、いつまでも空が明るいので、ホテルの光が見える暗かりになるのが待ち遠しいほどでした。やっと光が見え始めたのは、すでに7時半を過ぎていたでしょうか。次々と上空へ飛びながら光るホテルは幻想的です。声の上上げていました。正確に言うところでは、娘も初めて見るホテルに感嘆の声を上げていました。正しく、秋山町で見た時はまだ幼なかつたので憶えていないということでした。和歌山市内は、楠見だけではなく吉永などでも見られるそうです。環境への配慮が高まっている昨今、ホテルの住める川や里山が取り戻されつつあるのでしょうか。一方で原発の問題は深刻です。私たちの普段の暮らしを通じて、節電やごみの分別をはじめ、かけがえのない地球を未来へ残すことを意識できるようにしたいものです。